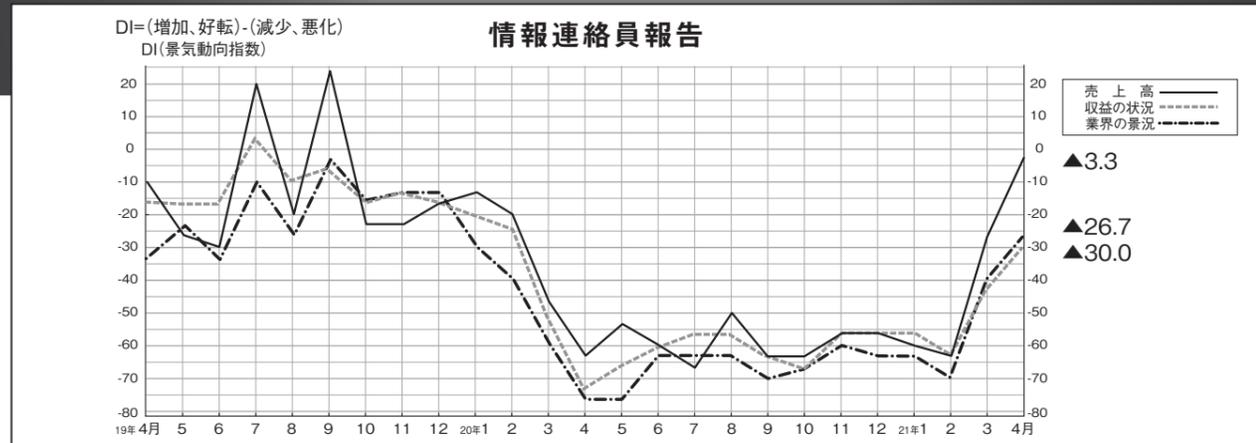


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2021年4月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>4月度売上は前年よりやや好転しているが、新型コロナウイルスの影響が続き、先行きは不透明のまま。スーパーマーケット等の量販店は好調だが外食系は厳しい状況が続いている。観光関連も低調。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>新型コロナウイルスの影響に関しては感染拡大の状況に因るので、注視していきたい。</p>
<p>酒類製造</p> <p>前年対比では増加となるが、前年度減少分の復活には程遠い状況である。依然として見通しは不明。輸出は好調、直近3ヶ月で倍増。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は、前年同月より減少。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月分以降は、増減を繰り返し、令和3年4月分は減少に転じた。</p>
<p>テントシート</p> <p>新型コロナ禍で、新規のお客様獲得が難しい状況。イベント関連が主力の事業所は、前年同月比で大幅な売上高ダウンの状況だが、少しずつ回復基調も見られる。</p>	<p>機械団地</p> <p>団地内の業況は概ね横ばい傾向で推移している。新型コロナ感染拡大が長期化する中で、一部に取引先からの受注減が続く企業や原材料の高騰により収益が悪化したとする企業がある。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>材価・量ともに外材輸入の減少による影響で回復基調にはあるが、具体的に見通せない部分は残るところ。スギ・ヒノキ共材価・量ともに1割程度アップしている。具体的に先が見通せない不安がある。</p>	<p>刃物製造</p> <p>先月の受注残を出荷でき、当月は前年度実績を上回ることができた。受注後の早期納品が今後も求められている。新型コロナの影響で県外への営業出張ができず、得意先とのコミュニケーションがうまく取れない。</p>
<p>製材</p> <p>原木、製品共に不足で価格は急激に上昇、特に製品は海外を含め大幅に不足で価格上昇の原因となっている。</p>	<p>船舶製造</p> <p>受注残の消化にて、操業度は高い水準。(海外営業活動の停滞はある)</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>全国的にティッシュ・トイレットペーパーの荷動きが悪い状況は継続している。特に、外出する機会が少ない為か? ポケットティッシュの需要が減少している。新型コロナの収束に期待するが……。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>4月は昨年中止となった製品大会を開催したことから、取引額は前年同月比427%となった。しかし、新型コロナ禍前の前々年と比べると75%であり、厳しい状況が続いている。末端の消費者による購買力が低調。</p>
<p>印刷</p> <p>県内需要は昨年よりは回復。県外需要は昨年と同等か? 全体で昨年対比は回復基調が見られるが一昨年対比は大幅に割れている。第4波の影響で先月の回復傾向も戻すばかり、先行きの見通しが立たない。</p>	<p>卸団地</p> <p>1.ゴールデンウィークの動きは悪かった。宿泊関係はある程度良かったようだが、外食店の動きが悪い。2.新型コロナの影響で、売り上げ減少が止まらない。回復には1年程度かかりそう。</p>

<p>青果卸売</p> <p>入荷量、出荷量ともに増加中である。量販店、小売店共に前年が一昨年度より好調であったため、本年度の伸びは減少した。業務及び外食は新型コロナの影響を受け、闇の中から抜け出せないままである。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>商店街に人の声が行き交うようになってきた。GWも観光客がぐっと増え宿泊客も多くなったが、まだまだ安心はできない。季節のイベントがことごとく中止になっている。この先の予定が立てられない。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>カツオは順調に入荷していた。小物はシイラが入荷したが全般的に少ない。マグロは少なく高値が続いている。仕入れがしにくい。安価だと需要がある。(スーパー)</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>前年比からすると増加はしているものの、微増にとどまっている。新型コロナ第4波の中、高知県は他県に比べると落ち着いたが迅速なワクチン接種が待たれる。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>高知県では新型コロナの感染者数は多くないものの、都会の緊急事態宣言や近隣の県での増加数を見てお客様が買い物に出てこない。昼の街も夜の街もさみしいものだ。</p>	<p>飲食店</p> <p>前年同月は感染拡大第一波の真只中で、比較すれば本月の景況は好転しているともいえるが例年、例えば2019年との比較ならば業界の売り上げは7割程度、相変わらずといった感じである。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>原油価格は週ごとに変化し未だに安定はしておらず価格は上下を繰り返している。今後もガソリン販売量が急激に増えることはないのは間違いなく、早急に次期燃料への方向性を決めインフラ整備を進めるべき。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合、全旅クーポン前年同月は大きく伸びているが、2年前同月対比は1/3である。修学旅行の売り上げが大きく伸びたが、昨年度の延期実施の旅行であり、今年度の修学旅行も催行されるか非常に危惧している。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>4月は全商品平均で106%。白物家電は108%。クリーナー120%で好調。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>令和3年4月分の公共用生コン出荷量は、前月比75.3%、前年同月比101.5%。公共工事請負金額は前年同月比で128.7%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>先月からの流れで普通車、特にコンパクトカー(高年式外車)の割合増が目立つ。業界流通量も安定しているため、在庫車両の確保がスムーズに行えると予想。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線工事量は、前年同月比66.1%となった。ほぼ県下全地区で減少した。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>毎年8月に開催していた「商い甲子園」大会も昨年は実施できなかったが、今年は感染防止対策を十分に行いながらの実施を計画。感染者数の増加に伴い、外出(商店街への来店)を控える人が増える傾向がある。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>燃料価格は若干の値下げとなり一息ついたが、昨年同時期はまだ新型コロナの影響が少なかったため売上減、減収となった。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比267.4%、台数:前年比245.4%。昨年は緊急事態宣言の発令で休業や時短を実施する店舗が多かったが、現在は他県と比べて感染者も少なく、徐々に人出は戻っている。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:117.2%、輸送回数:111.9%。実働率は52.5%。営業収入が増えたように見えるのは昨年新型コロナの影響が強く悪かった為。実働率が悪いのは需要の低下で休車が多い。</p>

挑戦の数だけ、
保険がある。

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動